

平成26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	おみの星空キャンドルまつり実施事業
事業主体 (連絡先)	おみの星空キャンドルまつり実行委員会 電話 0263-67-3001 (代) FAX 0263-67-3094
事業区分	⑧その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	710,492 円 (うち支援金: 524,000 円)

事業内容

地域の魅力を村内外の人に発信するため、住民の協働によるイベント「おみの星空キャンドルまつり」を行った。厳冬期ならではの気候、景色とアイスキャンドルが融合し会場を彩った。村内の宿泊施設の庭園を会場に、約2000個のキャンドルを並べ、来場者全員で火を灯し、参加型のイベントとして開催した。また幅広い年齢層の実行委員が加わり、親子や高齢者など様々な年代の村民が参加することができた。住民の協働によるイベントにするため、実行委員と村民と一緒に氷キャンドル作りを体験する日を設けたり、当日の会場で雪像作りをしたりした。また、着火ボランティアも募った。麻績村ポータルサイト「おみも」やFacebookなどを活用し効果的な広報活動や口コミなどで、住民等の意見を直接的・間接的に取り入れたことで、子どもや高齢者、親子での参加を取り入れ、多くの住民参加型イベントとなった。村内デイサービスの利用者に紙の灯籠の制作、保育園や小学校には氷に挟む絵の提供をしてもらった。さらに、松本大学の学生や会員と結び付きのある村外の人たちにもイベント当日のスタッフとして準備に携わってもらい新たな交流が生まれた。村と交流がある幼稚園児と一緒に作ったキャンドルカバーや、竹灯籠や竹ドームなど村内の地域資源を有効活用した新たなキャンドル制作にも取り組んだ。



当日の会場で雪像作りをしたりした。また、着火ボランティアも募った。麻績村ポータルサイト「おみも」やFacebookなどを活用し効果的な広報活動や口コミなどで、住民等の意見を直接的・間接的に取り入れたことで、子どもや高齢者、親子での参加を取り入れ、多くの住民参加型イベントとなった。村内デイサービスの利用者に紙の灯籠の制作、保育園や小学校には氷に挟む絵の提供をしてもらった。さらに、松本大学の学生や会員と結び付きのある村外の人たちにもイベント当日のスタッフとして準備に携わってもらい新たな交流が生まれた。村と交流がある幼稚園児と一緒に作ったキャンドルカバーや、竹灯籠や竹ドームなど村内の地域資源を有効活用した新たなキャンドル制作にも取り組んだ。

事業効果

○実行委員とボランティア参加者:

目標: H26 500人 対H25比25%増加

実績: H26 550人 対H25比37%増加

住民がこの活動に参加したことで、自主性を育み、住民の生きがいややりがいをもちながら活動できる場となった。その点で村の発展や振興に効果をもたらした。

○村外からの観光客入り見込み数

(アンケート回答を基に算出)

目標: H26 1200人 対H25比9%増加

実績: H26 1300人 対H25比18%増加

来場者集が増加し、村内の商業施設や宿泊施設の収益増加につながった。

※自己評価【 A 】

【目標・ねらい】

- ①村民同士の交流の場
- ②地域の発展
- ③観光客の増加
- ④Uターン・Iターン希望者の増加

今後の取り組み

来場者に記入していただいたアンケートを基に改善点を見直す。村内外に関わらず実行委員やボランティアを更に増加できるように努める。次年度のイベントへの参加意欲を向上させられるよう広報活動を行っていく。

(別記様式第12号) (第3の8関係)

- ※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある